

企業の皆様へ

～東日本大震災の教訓～

首都圏では公共交通機関が麻痺したことにより、**多くの帰宅困難者が発生し大混乱となりました**。こうした状況は決して他人事ではありません。

災害発生時にこのような大混乱を起こさないためには、企業の皆様のご協力が必要です。

帰宅困難者対策はなぜ必要なの？

大地震などの災害が発生すると、公共交通機関は安全確認のため運行を停止



早く帰りたいので、多くの人が一斉に帰宅行動。しかし、鉄道等の運行が再開されないと、駅には帰宅できない人がどんどん増加。

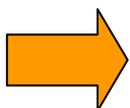


☆駅周辺は人や車で大混乱 ☆携帯電話が繋がらない
☆タクシー乗り場も長蛇の列 ☆階段などでは集団転倒のおそれ
☆歩道でも、余震による建物倒壊や看板などの落下による死傷のおそれ
☆帰宅を急ぐ車の渋滞が、救急車や消防車の運行の妨げに



このような大群衆の発生は、パニックを引き起こす可能性があり、二次災害の危険を増大させます。

それではどうしたらいいの？



「むやみに移動を開始しない」ことが基本！

企業における対策は？

●従業員等を一斉に帰宅させることは控えましょう。

- ・翌日帰宅や一定期間の滞在
- ・公共交通機関の運行状況や被害状況等の情報収集
- ・従業員等が事業所内に安全に待機できる環境整備
 - ◎社屋の耐震化、書棚等の転倒防止、ガラスの飛散防止
 - ◎食料や飲料水の備蓄など



※企業においては、BCP（事業継続計画）を策定し、従業員等の待機及び帰宅方針を定めておきましょう。